

拠出金名:IGBP拠出金

国際機関等名	地球圏・生物圏国際協同研究計画 (英文名称・略称) International Geosphere-Biosphere Programme (IGBP)					
種 別	国連(事務局)		国連(基金・計画)		国連専門機関 (その他)	
所轄官庁担当課名	文部科学省 研究開発局 海洋地球課 地球・環境科学技術推進室					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成17年度	16,050	150		1\$ = 111円	(2005年) 9.7	0
平成16年度	16,500	150		1\$ = 110円	(2004年) 7.4	0
平成15年度	18,300	150		1\$ = 122円	(2003年) 6.3	0
拠出上位5ヶ国						
	国 名	(千ドル)	率(%)	国際機関等の財政 (2005年度決算)		
1位	米国	430	20.9	当該年度の収入 2,059,076ドル		
2位	スウェーデン	169	8.2	当該年度の支出 2,068,854ドル		
3位	ドイツ	163	7.9	次年度への繰越 195,552ドル		
4位	日本	150	7.3	会計検査機関名		
5位	フランス	108	5.2			
上記の率及び順位は2005年のもの				(現在の構成員の出身国:)		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
本事業の重要性と我が国がこれまでに果たしてきた実績からして、我が国が今後もIGBPに参画することの意義は極めて大きいとして、日本学術会議の第120回総会においてIGBPへの拠出と研究の促進について万全の措置を講じることを勧告している。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
事務局の運営に関しては、合理化等を行いつつその機能の拡大(広報活動など)を行っているが、その経費の増加分に関しては、単年度ベースでの助成の増加や民間助成への応募などで対応している。						
邦人職員数 うち幹部以上	0 人 うち 0 人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にしめ る率		11 人 0 %		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
未定						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2003年～2005年)。